

宇和島の事故を防げ！

2年1組 都築ゆらら 2年1組 井上 風咲
指導者 松岡 拓哉

1 課題設定の理由

私たち二人は自転車通学生で、以前から登下校時によく身の危険を感じていた。見渡しの悪い十字路、カーブミラーや信号のない道路では、自分たちだけでなく車側からも見えにくい状況となっている。そのため、衝突しそうになったり急ブレーキをかけたたりする場合も少なくない。事実、自転車と車の接触事故は毎年、数件発生している。これからの事故率を少しでも下げるため、宇和島市内の危険な箇所を偵察し、改善策の提示をする。

2 研究方法

各通学路およびその通学路の危険な場所を本校生徒 100 名程度に以下の内容でアンケート調査、集計し、その場所の見学を行い、解決方法を提示する。

- ① どの方面から通学しているか
- ② 通学手段
- ③ 平日の帰宅時間
- ④ 住んでいる地域
- ⑤ 登下校中に危険を感じた場所

アンケートで得られた結果をもとに、危険が潜む箇所の写真を撮り、どこがなぜ危ないのか考える。

3 結果

アンケート調査の結果を表 1 に示す。

表 1 生徒の通学状況

通学方向	城東中学校		城北中学校		城南中学校		宇和島駅		その他			
		17		11		5		17		10		
通学手段	自動車		自転車		徒歩		バス		汽車		その他	
	24		30		7		19		7		1	
平日の帰宅時刻	16:00~17:59				18:00~18:59				19:00			
	5				9				45			

危険を感じた場所

①学校周辺

- ・当校の正門前付近
- ・ガソリンスタンドの横
- ・天赦園入口

②宇和島駅周辺

- ・宇和島駅前横断歩道
- ・宇和島ターミナルホテル前
- ・自転車置き場前

③国道 56 線沿い

- ・マクドナルドからきさいや広場

(1) グラウンド野球側の前 (図1、2)

「曲がり角の見渡しが悪く、曲がってきたものとぶつかりそうになる」

原因として、カーブミラーがないこと、曲がり角でスピードを出したまま止まれないということ、見渡しが悪いということを考えて。改善策としては、カーブミラーの設置を行うことで、死角によっておこる事故を防ぐことができるのではないかと考えた。



図1 グラウンド野球側の前
(学校側から見た図)



図2 グラウンド野球側の前
(鶴島小側から見た図)

(2) 天赦園付近 (図3、4)

「車がカーブしてくるのに対応できない」

「信号機の変わるタイミングがわかりにくい」

歩行者が横断歩道を渡る前に車を確認し、カーブする車がいれば十分気を付けながら横断する。また、通常の十字路の信号の変わり方との規則性が異なり、歩行者側の誤解を招きやすい信号機であった。改善策としては、歩行者側がちゃんと信号機を確認して注意する。



図3 天赦園付近の交差点①



図4 天赦園付近の交差点②

4 今後の課題

宇和島での登下校において、身の危険を感じている人は自分たちだけではなく、宇和島市ではより注意深く確認しながら登下校をしなければならないと感じた。この先宇和島市で登下校する時は、車の確認や歩行者の確認などを怠らず、危険を感じた際に、その場所は何故危険なのかを考え、原因を究明していきたい。

参考文献

- ・写真情報 ; 「Google ストリートビュー」 <https://www.google.com/maps>